

お客様各位

外務省より、下記の通りシリア全域に「十分に注意して下さい」が発せられました（以前の危険度1 注意喚起）が、弊社主催の各ツアーに関しまして、予定通りご出発頂けます。
尚、お手配旅行・自由行動（旅行）中は十分ご注意下さい。

【主催企画】
（株）ピーエス観光
（国土交通大臣登録旅行業第347号）
〒150-0004 東京都港区新橋3-2-7
 恭和ビル4F
TEL：03-3502-4022

【お申込み】
（株）エアークリスタル
（東京都知事登録旅行業代3-5400号）
〒160-0018 東京都新宿区須賀町1番地
 サントピア四谷1F
TEL：03-5368-0951

シリアに対する渡航情報（危険情報）の発出（2008/06/02）

- （1）シリア全域：「十分に注意してください。」（継続）
- （イ）2005年2月14日、レバノンの首都ベイルートで起きたハリーリ・レバノン元首相暗殺事件以降、米国等のシリアに対する非難、圧力が強まり、同年4月下旬にはレバノンに駐留するシリア軍が完全撤退するに至りました。また、同年10月下旬、同事件にシリア情報機関が関与したとする報告書を国際独立調査委員会が国連安保理に報告したことに反発した市民が、首都ダマスカス市内等で大規模デモや政治集会を活発に行いました。その後も米国等による対シリア非難と圧力が継続していることを踏まえれば、デモ、政治集会又は米国権益等に対する破壊活動発生の可能性も排除されません。
- （ロ）2005年7月4日、首都ダマスカス市内のカシオン山地区でイスラム過激派武装テログループと治安部隊との間で銃撃戦が発生し、治安部隊の将校1人が死亡、グループの4人が逮捕される事件が発生しました。その後も、ハサケ市、ハマ市、アレッポ市及びイドリブ県で同様の事件が発生しており、2006年6月2日、首都ダマスカス市内西部の政府重要建物等が集まる場所で、イスラム過激派武装テログループと治安部隊との間で銃撃戦となり、グループの4人が死亡、6人が逮捕され、治安部隊の1人も死亡する事件が発生しました。
- （ハ）2006年9月12日、イスラム過激派の4人が首都ダマスカス市内にある米国大使館に対し、手榴弾や小銃等でテロ攻撃を仕掛け、治安当局との間で銃撃戦となりました。このテロ攻撃で、イスラム過激派4人及び治安当局関係者1人が死亡したほか、巻き添えとなった通行人1人も死亡しました。
- （ニ）2007年4月以降、首都ダマスカス郊外やホムス県等でも治安部隊とイスラム過激派との間で銃撃戦となる事件が散発しています。また、2008年2月にはレバノン野党勢力ヒズボラの幹部がダマスカス滞在中に自動車爆破テロにより死亡する事件も発生しています。
- （ホ）シリア国内では、過去に多数の誘拐事件が発生した経緯があります。2007年3月、カナダ人女性がハマ市で行方不明となり、現在も安否が分からないことから、今後も十分な注意が必要です（誘拐対策については、「海外における誘拐対策Q&A」（http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph_04.html）5月12日付け広域情報「中東・北アフリカ地域：誘拐に対する注意喚起」も御参照ください。）、

つきましては、これらの地域に渡航・滞在を予定されている方は上記情勢に留意し、不測の事態に備え、在シリア日本国大使館の連絡先を携行されるなど、安全対策等に十分注意を払ってください

（問い合わせ先）

外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐に関する問い合わせを除く）

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）5140

外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐に関する問い合わせ）

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311（内線）3679

外務省海外安全相談センター

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311（内線）2901

外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

携帯電話用：<http://www.anzen.mofa.go.jp/i/>

在シリア日本国大使館

（所在地）NO.3537 Sharkasiya, Aljala St, Damascus

電話：（963-11）3338273、3332553、3339781、3310417～8、3343885～6